てんぷら新聞

'14.7.No205
発行責任 市岡田鉄
0883-88-5292

至福の時も

入梅になる雨が少ない今年の梅雨。
飲料水が心配になってくる。それでも雨が降れば、暗の事ばの事にぎやかになると、この時とばかり草花もいっきに延びてくる。
仕事で山をよく歩く。時雨晴れの日に、汗を流して歩き、大木が繁げる平地に出て昼になる。木にもたれ、弁当を食べはじめる。
静かな時間が流れはじめる。小鳥の声がしはじめると、何羽も木蔭カゲに見えかくれ。
コゲラが忙しなげが多く見える。見張り役なのか、あっちこっちでさえずる。
弁当を食べ終え、ひと耳を澄ま、何を見ると色なく見ている。時々、風の流れる様子が伝わる。代面を見れば、陽かげが交様に見えて揺れている。隣りの相棒は食後の一服。
なんとも至福の時間がすぎていく。
腹も満足、心も満足してくる。

こんじゃ まるで一石だよ

そんな時は流れる良面、帰えて二ュースを聞けば、遂に、安倍内閣は、集団的自衛権を閣議決定したというニュース。
国の法、憲法を、時の権力者が、あれこれ解釈して、都合のいいように変えるのは、まるで

口と同じではないのだろうか。
ルールをルールと守れない内閣
なんて信用できるのでしょうか。
そんな内閣が守ってくれる国民とは、どんな国民を指しているのでしょうか。
それにしても、これが本当に民主主義国家といえるのでしょうか。
ますます国際的にも信用されないと、危険な立場になっていくのではないでしょうか。
今すぐ戦争とはならないのでは安心と考えているとすれば、とんでもない。
戦争になれば、反対しても、何も出来なくなるのです。それはどの国においてもみれば証明しているとおもいます。時の権力者に反対すれば投獄かま殺かです。だから、今、どうするかが大切。
政党がどうの、宗教がどうのではありません。
一人の人間として、私はどうなんだという事が判断、労働が必要だとおもいます。
心、おだやかな一日も、一人なニュースで思いがけずみあげてきました。
それでも焼たちはにぎやかに合唱して、生きている。
ことを楽しんでいる様子。
ウグイスも鳴いている。草花も今を生きている。
蒸し暑い日も、雨が少しふくごけでも地良い時間もすぐ過ぎる。どちらが良いかは、多分、人間がきめることだろう。なのに、なぜに!!

先生のおかげで今ではあっちこっちでイヤギボウシが咲いている。